

京機会ニュース



京機会事務局

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 b棟4階(b4S13)

TELFAX:075-383-3713 E-mail:jimukyoku@keikikai.jp

URL:https://keikikai.jp/

No.48

2026 September



CONTENTS

- 02| 2027年度京機会総会のご案内
- 03| 2026年度京機会総会報告
- 04| 会計報告/会費納入のお願い
- 04| 本部役員・学年幹事
- 05| 京機会の今後について
- 05| 支部からのお知らせ
- 08| 年会費新決済サービスのご紹介
- 08| 同窓会報告(会員のページ)
- 08| 京機短信原稿投稿のお願い



会員ページ(同窓会報告)・支部報告は
京機会ホームページ(右記QRコード)よりご覧いただけます。

2027年度 京機会総会開催のご案内

下記の通り開催いたしますので、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

総会および講演会は、オンラインでもご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

I) 日 時: 2026年11月7日(土) 13:45~19:30 (終了予定)

II) 会 場(現地):

< 総会・特別講演会 > 京都大学吉田キャンパス物理系校舎 3F 313室

●「総会・特別講演会」は、Zoomを用いたオンライン配信も行います。

< 懇親会 > 史跡旧仮皇居 聖護院 御殿荘 光淳「中御殿」

〒606-8324 京都市左京区聖護院中町15 電話: 075-771-4151

III) 行 事: 13:00~ 受 付

1. 京機会総会 13:45~15:15

1) 開会の辞 2) 会長挨拶 3) 活動報告および議案審議 4) 支部報告
5) 活動優秀賞・会長賞 表彰式 6) 質疑応答 7) 中締め

2. 特別講演会 15:20~16:35

『大学は変われるのか: 国際卓越研究大学とコンプライアンス』

榎木 哲夫 氏 (1981年卒、京都大学 理事・副学長)

このたび京都大学が「国際卓越研究大学」に正式認定されることになりました。この構想に盛り込まれた「伝統の継承」と「研究体制の大規模改革」、そしてこれらを推進する上で表裏一体の不可分な関係となる「リスク防衛」について、過去3年余りにわたる本学のコンプライアンス担当としてのご経験からお話いただきます。



● 懇親会は、会場をご移動いただきます < 徒歩で15分程度です >

● 講演会終了後、懇親会が始まるまでの自由時間は御殿荘館内で「①ご入浴 ②「一夜造御学問所」見学 ③足湯」もお楽しみいただけます。
(注) ①②は、事前申し込みが必要です。

3. 懇親会 17:30~19:25

今回は旬の京懐石に、選りすぐりのお酒もご用意しての懇親会です。実りの秋、皇室ゆかりの会場で、秋の風情に包まれながら美味しい料理と銘酒にて、懐かしい皆様との「秋の楽しい一夜」をお過ごしください。



4. 記念写真撮影 19:25~19:30

IV) 参加費(懇親会費): 会員 10,000円 (~2013年学部卒) / 5,000円 (2014年学部卒~)
会員ご家族 7,000円 / ご家族(大学・高校・中学生) 3,000円 / ご家族(小学生) 2,000円
学生 3,000円

● ご着席での宴席となりますため、直前キャンセルの場合、キャンセル料をいただく場合がございます。

● 総会・特別講演会(オンライン・現地参加)は無料でご参加いただけます。

V) 懇親会定員: 115名(ご家族含) ● 総会・講演会参加には定員はございません。

VI) 参加申込締切: 10月20日(火)

● 京機会ホームページ(<https://keikikai.jp/>) からの参加申込をお願いいたします。

● 懇親会は定員に達し次第、締切とさせていただきます。お早めにお申し込みください。



● 11月7日(土)は、吉田キャンパスで京大ホームカミングデイも開催されています。

2026年度 京機会総会のご報告

日 時:2025年11月8日(土)

14:00~19:00

会 場:京都鉄道博物館

ザ・ロイヤルパークホテル京都梅小路

出席者:105名(現地:76名、オンライン:29名)



総会に先立ち全体幹事会が行われ、主に決算報告と新役員候補の紹介がなされ、総会への提出が承認されました。また、京機会活動の活性化に向けた意見交換も行われました。

総会は代表幹事の平方寛之さん(1997)の司会により進行し、京機会会長・仲田摩智さん(1979)のご挨拶から始まりました。続いて、教室の現状報告、新任・昇任教員紹介がありました。



2025年度活動報告では、「学生と先輩との交流会」や「学生工場見学」「社会貢献活動(高校出張講義、女性キャリア講演会等)」が紹介されました。

引き続き、会計幹事・小森雅晴さん(1995)による決算報告、監事・塩路昌宏さん(1975)による監査報告が行われ、何れも承認されました。役員改選では、仲田さんが会長に再選され、副会長案が承認されました。また、新役員体制が報告されました。

続いて、新代表幹事・土屋智由さん(1991)から2026年度活動予定、前会計幹事・小森さんから2026年度予算案の報告があり、いずれも承認されました。

支部からは、関西支部・久保田修司さん(1987)、関東支部・村上弘記さん(1985)、中部支部・近藤功一さん(1986)、中国四国支部・豊嶋範男さん(1982)、九州支部・中村久志さん(1981)より、それぞれ特色を生かした活発な活動状況の報告がありました。

続いての講演会では、京都鉄道博物館副館長・松井元康さん(1990)より、「京都鉄道博物館のご紹介+500系新幹線電車開発秘話」と題してご講演いただきました。博物館の紹介に続き、「より速く、より静かに、より快適に」という設計思想のもとに進められた500系新幹線の開発経緯が語られ、軽量高剛性のアルミ構造、蛇行動を抑制する台車設計、トンネル微気圧波を低減する流線形先頭構造、パンタグラフの騒音低減に寄与したボルテックスジェネレーター等機械工学の粋を集めた技術開発の裏側が紹介されました。航空機技術等も取り入れた研究開発の実際と技術の進化を支える開発者の情熱に参加者一同深い感銘を受けました。



その後の特別企画として、京都鉄道博物館の見学会が行われました。館内自由見学に加え、松井副館長による特別ガイドツアー、学芸員による解説ツアー、SL乗車などが実施され、通常は見学できない箇所も特別に公開いただき、参加者が大変満足した様子でした。



再びホテル会場に戻り、新代表幹事・土屋さんの司会により懇親会が開催されました。仲田会長のご挨拶、井上恵太さん(1961)の乾杯のご発声に続き、歓談の後、京機会活動において特に貢献された会員への表彰が行われました。会長賞は松久寛さん(1970)に贈られ、また支部推薦の活動優秀賞が中国四国支部の佐藤重喜さん(1993)をはじめ5名の方に授与されました。

さらに、京都鉄道博物館「お土産」抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がりました。賑やかな雰囲気の中、全員で肩を組み「琵琶湖周航の歌」を斉唱し、学生会の桑原和暉さん(2025)の一本絞めをもって閉会となりました。最後まで和やかに歓談が続き、盛会のうちに総会を終えることができました。

ご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。



「会長賞」

松久 寛さん(1970)

「年間活動優秀賞」

関西支部推薦: 奥田 寛さん(1980)

関東支部推薦: 福井 隆之さん(2001)

中部支部推薦: 水谷 彰宏さん(1998)

中国四国支部推薦: 佐藤 重喜さん(1993)

九州支部推薦: 泉屋 亨さん(1993)



会費納入のお願い

皆様、京機会へのご支援・ご協力ありがとうございます。

2026年度・2027年度の会費の納入をお願いします。

年会費は、従来どおり3,000円です。

2026年度<2026. 4. 1～2027. 3. 31>

2027年度<2027. 4. 1～2028. 3. 31>をそれぞれ1年分と考えてご納付ください。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本のものづくりを支える本会の活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。是非、会費納入にご協力ください。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用ください。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

● 永年会員登録のお勧め

1989年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく、生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録ください。(但し、際し既払込会費の返金はいたしません。)

● 銀行口座振込もご利用できます。

下記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込ください。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします。(海外送金は除く。))

口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

ぜろきゅうきゅう

ゆうちょ銀行 ○九九店(099) 当座預金 0116821

みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630

郵便振替口座 00990-8-116821

● 京機会年会費自動引落のお勧め

京機会年会費を自動引落にさせていただくことを、是非お願い申し上げます。申請の際は、同封の用紙をご使用ください。振込手数料は京機会負担です。申請依頼書は4月末迄に京機会事務局宛にご郵送ください。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 4階 b4S13
京都大学工学研究科 機械系教室 京機会事務局

■ 年会費の自動引落日は毎年7月1日です。

● (新サービス) コンビニ払い・スマートフォン決済(PAY)のお勧め

今秋より「2026年度年会費専用」でコンビニ払・スマートフォン決済(PAY払い)が可能な振込用紙をご用意しています。是非、ご利用ください。

ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。

前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2025・2026年度寄付者(2025.7.8～2026.7.31)

奥津 尚宏様(1965) 藤原 健嗣様(1969)

井上 陽一様(1970) 田中 博由様(1973)

<ご報告> 京機会2025年度(2024.10.1～2025.9.30) 決算 / 2026年度(2025.10.1～2026.9.30) 予算

2025年度一般会計正味財産増減計算書 & 2026年度予算

	単位:円			
	2025年度実算	2025年度予算	差引	2026年度予算
I 一般正味財産増減の部				
i) 収益				
会費収入	8,514,507	6,560,000	1,954,507	6,260,000
寄付収入	58,598	110,000	▲ 51,402	66,000
参加費収入	15,332,500	9,124,000	6,208,500	8,904,000
名簿販売収入	0	0	0	0
名簿広告収入	0	0	0	0
受取利息	17,422	1,500	15,922	20,000
雑収入	0	0	0	0
名簿管理システム導入引当金展入	0	400,000	▲ 400,000	0
収益計	23,923,027	16,195,500	7,727,527	15,250,000
ii) 費用				
給与手当	5,156,919	4,640,000	516,919	5,350,000
法定福利費	749,750	800,000	▲ 50,250	800,000
会議費	5,700,711	3,900,000	1,800,711	3,830,000
旅費交通費	846,780	980,000	▲ 133,220	950,000
印刷費	1,529,263	1,555,000	▲ 25,737	840,000
通信費	922,645	1,695,000	▲ 772,355	590,000
消耗品費	45,754	74,500	▲ 28,746	250,000
WEB等管理費	544,541	730,000	▲ 185,459	440,000
減価償却費	2,489	270,000	▲ 267,511	30,000
雑費	238,087	200,000	38,087	320,000
支部交付金	1,478,133	1,481,000	▲ 2,867	1,824,000
スマイル活動費	116,664	150,000	▲ 33,336	190,000
機械系教育補助費	361,000	650,000	▲ 289,000	436,000
地域・社会貢献事業等補助費	63,000	150,000	▲ 87,000	150,000
名簿管理システム導入引当金繰入	200,000	0	200,000	200,000
雑損失	0	0	0	0
その他(法人税等)	281,300	220,000	61,300	250,000
費用計	18,237,036	17,495,500	741,536	16,450,000
一般正味財産増減額	5,685,991	▲ 1,300,000	6,985,991	▲ 1,200,000
一般正味財産期首残高	13,094,608			
一般正味財産期末残高	18,780,599			

2025年度特別会計正味財産増減計

単位:円	
	2025年度実算
II 特別正味財産増減の部	
i) 収益	
預金利息	10,430
収益計	10,430
ii) 費用	
雑費	0
費用計	0
特別正味財産増減額	10,430
特別正味財産期首残高	17,675,969
特別正味財産期末残高	17,686,399

2025年度正味財産期末残高 36,466,988円

2025年度 貸借対照表

単位:円				
科目		金額	科目	金額
資産の部			負債の部	
現金	235,971	未払金	505,538	
普通預金	37,478,041	預り金	39,492	
定期預金	2,800,000	名簿管理システム導入引当金	600,000	
器具備品	187,016	退職給付引当金	3,375,000	
ソフトウェア	0	負債の部合計	4,520,030	
備蓄品	286,000	正味財産の部		
前払金	0	一般正味財産	18,780,599	
		特別正味財産	17,686,399	
		正味財産の部合計	36,466,998	
資産の部合計	40,987,028	負債及び正味財産合計	40,987,028	



最新の京機会本部役員・学年幹事は、ホームページよりご確認ください。➡



京機会の今後について

2026年7月3日に国際卓越研究大学の認定等に関する有識者会議が京都大学を第3の認定校とする基準を満たしているとの結論を出したことが報じられました。

今後、京都大学の研究組織はデパートメントと呼ばれるdiscipline(研究領域)をベースとした組織に再編されていくことになります。京機会の母体である機械系教室は本学で最も古い学科の一つである機械工学科を端緒とし、拡大、再編を経ながらも現在に続いており、機械系研究室で学んだ卒業生の同窓会として発展、類を見ない活発な活動により学生、卒業生のみならず社会への貢献をしてきました。しかしながら、今後、学問分野が今まで以上に急速に変化し、同時に大学ではデパートメント単位での研究や教育を担うことが求められるなかで機械系教室とともに同窓会組織にも何らかの改革が必要となっています。このような背景のもと、また同時に様々な観点で京機会の現状に対する課題(財政、事務局機能、教員負担、支部活動、名簿管理など)が山積しており、数年前から同窓会の将来像についての議論を進めています。具体的には、

- ・個人会員の減少
- ・「学生と先輩との交流会」の収益に依存する財務体質
- ・個人情報保護法のもとでの名簿管理
- ・事務局を担う人材の確保と育成

- ・教員の負担軽減
- ・支部活動のありかた

などが挙げられます。これに対して同窓会を大学組織の中の教育・研究支援、産学連携の活動の一部として大学が運営する案や活動の重点化や規模の見直しを含む改革をしながら現状の任意団体を継続する案が提示されていますが、それぞれに一長一短があり議論が続いています。個人的には京大機械系の特徴の一部でもあり、陰に陽に多くのメリットがもたらされている同窓会活動は継続すべきとの考えを持っていますが、教員の中でも意見は幅広いです。国際卓越研究大学として変化していく大学と並走しながら単なる同窓会を超え、機械系として世の中、卒業生・在学生・教員のニーズに対応した持続可能な教育・研究活動の基盤構築に取り組んで参りたいと考えております。皆様にはこのような状況を理解いただき支援をお願い申し上げます。また、本件について忌憚のない意見をお寄せいただければ幸いです。

京機会代表幹事 土屋 智由

京機会活動の詳細情報は
ホームページよりご確認ください。



関西支部からのお知らせ

◆ 久保田修司支部長(1987) からのご挨拶

昨年度より関西支部長を務め、この一年を通じて、京機会の最大の魅力は、世代や分野を超えて広がる「人のつながり」にあると強く実感しております。諸先輩方のご指導とご協力をいただきながら、今年はその魅力をさらに深め、現役世代の皆様も参加しやすい実りある交流の場を作っていきたいと思っております。皆様と一緒に関西支部をさらに盛り上げるために、一層のご参加とご協力を心よりお願いいたします。

～ 支部活動のご紹介 ～

2026年度も例年通り、活発な活動が計画されています。

■ 2026年度支部総会・新年会 (2026/1/24(土))

会場:ホテルグランヴィア大阪

支部総会、フォーミュラ報告会の後、新年会を盛大に開催しました。しばし旧交を温め、福引で大盛り上がり。最後には恒例の「琵琶湖周航の歌」を大合唱。ここから2026年度の活動がスタートしました。



■ カフェ活動

新規事業・イノベーションカフェ、大阪あそ歩、京都あそ歩、テニス、文楽鑑賞会、吉本新喜劇観劇会を開催。今後、ゴルフ、産業歴史探訪、などが予定されています。幅広い世代が活動に参加しています。

～ その他の活動紹介 ～

■ 京機学ぼう会 (6/20(土))@TKPガーデンシティ大阪梅田

昨年度に「産学懇話会」と「異業種交流会」を併催したところ好評だったことを受け、同活動を今年度から「京機学ぼう会」として新たにスタートしました。

記念すべき第1回は「家電の苦境から見える日本のものづくりの道標」と題して、長野寛之様(1978、N/H技術経営研究所代表、東北大学フェロー、兵庫県立大学特任教授)にご講演いただきました。パナソニックでプラズマディスプレイの製造と経営に携わったご経験と、日本製造業の歩みや今後の可能性に関するお考えを伺い、講演後は活発な議論が交わされました。

第2回は、9/26(土)に澄川貴志教授(1996、京都大学大学院エネルギー科学研究科)のご講演を予定しています(金属疲労の最新研究と大学の近況について)。

■ 同窓会企画:2006年と2016年学部卒合同同窓会

昨年度に続き、NF(11月祭)に合わせて開催する計画です。今後、学年幹事と議論して詳細を詰めてまいります。決定次第、京機会HPとMLでご案内いたします。

■ 2027年度 総会・新年会 (2027/1/23(土) 予定)

会場:ホテルグランヴィア大阪

関西支部活動の詳細情報は
ホームページよりご確認ください。



関東支部からのお知らせ

今期の関東支部の体制や活動内容について、簡単に紹介します。

■活動報告 2026年度関東支部総会・新年会

日時:2026年4月11日(土) 会場:日本工業倶楽部

総会においては2025年度活動報告・大学状況紹介等が行われ、また2026年度の新役員体制や活動計画などが承認され、関東支部の2026年度の活動がスタートしました。また、京大KARTの活動報告はWeb会議システムを活用してリモートで実施するという新たな取り組みも行われました。総会後の講演会では早稲田大学理工学術院基幹理工学部教授の尾形哲也氏より「Physical AIのためのロボットデータエコシステムへ向けて」と題する講演をいただきました。Physical AIに関する国内外の現状と、重要となる要素、そして今後の展開について学ぶことができました。懇親会においては関東配属となった新卒業生の紹介もあり、出席者が交流を楽しみ、締めには全員で輪になって琵琶湖周航の歌を歌いました。



■役員体制

2026年度の役員体制は以下のように決定しました。

支部長	村上 弘記(1985)
副支部長	能勢 幸嗣(1991)、平山 朋子(大学)
	児玉 祐一(1996)
監事	山下 真司(1988)
顧問	熊澤 正博(1968)、正井健太郎(1982)

■役員体制

事務局長	垣見 成巨(1991)
事務局次長	杉中 智洋(1992)

■活動報告:異業種交流会

日時:2026年6月13日(土) 会場:日立目白クラブ

演題:「新時代における金融の変化とその未来」

講師:暗号資産教育協議会 田中 誠氏(1983)

今回は「お金」をテーマに、その歴史や仕組みに加え、暗号資産の仕組みやそれに対する国や企業の取組等についてご講演いただきました。講演後の懇親会では講演者及び参加者の間で活発な質疑応答や意見交換が行われ、終始和やかな雰囲気の中、盛会のうちに終了いたしました。

■今後の予定:学生工場見学(中部支部合同イベント)

日時:9月28日～9月30日:関東支部は9月29・30日担当

現在詳細について調整中ですが、関東支部側でも懇親会を実施予定です。別途案内させていただきますので、是非ご参加ください。

●その他に今年も、異業種交流会・ゴルフ同好会・写真同好会・MOTセミナーなど多彩な企画を用意していますので、是非ご参加ください。

関東支部活動の詳細情報は
ホームページよりご確認ください。



中部支部からのお知らせ

◆奥村和雅支部長(1990)からのご挨拶

4月から中部支部長として、「reconnect boost! 中部支部」をスローガンに活動を行っています。学生さんからOBまでの縦のつながりを大切に、今までの活動をさらに加速させて行きたいと考えています。京機会のつながりが活力となるような企画をどんどん揃えて行きますので、会員皆様の参加をお待ちしています。

～支部活動のご紹介～

■2026年度支部総会・講演会(2026/4/18(土))

会場:DMG森精機セールスアンドサービス(名古屋)+オンライン
講演会:『設計からスポーツまで～数値シミュレーションの民主化が拓く次世代のリテラシー～』

韓 霽珂様(京都大学大学院工学研究科特定准教授)

『羽田を走る自動運転トローイングトラクタ』

～システム全貌と内閣総理大臣賞の舞台裏～

佐藤 誠様(2007、豊田自動織機)

今年も70名以上が集まり、世代を超えたつながりを深めました。ご講演のお二方はじめ、若手の参加者も



多く、大変活気のある会となりました。懇親会の締めは恒例の「琵琶湖周航の歌」を、今年も石橋基弘さん(1992)の音頭のもと全員でアカペラ合唱しました。

■若手の会学生フォーミュラ「KART応援」

(2026/7/4(土)、8/7(金))

会場:DMG森精機伊賀事業所(テスト走行)

Aich Sky Expo(本戦)

今年も中部支部はKARTを応援します!夢を追う現役学生さんから、OBも活力をもらっています。テスト走行の後には、DMG森精機様からのBBQで鋭気を養いました!



■第39回技術交流会(2026/9/4(金))

会場:分子科学研究所(愛知県岡崎市)

施設見学と、在籍研究者からご講演いただきました。

■学生工場見学 兼 第40回技術交流会

(2026/9/28(月) 計画中)

会場:DMG森精機 伊賀事業所(三重県伊賀市)

日本製鉄 名古屋製鉄所(愛知県東海市)

学生会SMILEとのコラボ企画 鋭意計画。

中部支部活動の詳細情報は
ホームページよりご確認ください。



中国四国支部からのお知らせ

支部長・事務局長を務めてきた四国メンバーの体制が2026年度春季総会をもって一区切りとなりました。2024年秋季行事以降、四国各地で継続して支部行事を開催し、多くの会員の交流と親睦を深めることができました。

◆後藤 宏支部長（1988）からのご挨拶

2026年5月から新たな支部役員体制へ移行し、支部長を拝命いたしました。近年、当支部の行事の参加者が少しずつ若い世代へと移りつつあると感じています。今後、会員の上下左右のつながりをより広げ深めて行くべく、積極的にお声掛けさせていただき、皆さまのご協力を賜りながら、支部活動の活性化に努めてまいりたいと考えております。微力かつ力不足ではありますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

■2025年秋季行事（親睦行事、支部運営会議・懇親会）

○日時:2025年10月18日（土）14:40～16:30

○場所:高知市 ○参加者:11名

親睦行事では、高知県立牧野植物園および桂浜を訪問し、高知の自然や歴史・文化に触れながら会員同士の交流を深めました。懇親会は高知市内で開催し、世代や所属を越えた交流の場として大いに盛り上がりしました。



■2026年春季行事（見学会、支部総会・講演会、懇親会）

○日時:2026年5月9日（土）12:00～19:00

○場所:香川県（多度津町・丸亀市）

○参加者:20名（対面18名、オンライン2名）

企業見学会では、JR四国多度津工場を見学しました。JR唯一のFRP台車やオーバーホール中の車両機器などを見学し、鉄道技術や保全技術への理解を深めました。参加者からは多くの質問が寄せられ、活発な見学会となりました。総会・講演会・懇親会は丸亀市のオークラホテル丸亀で開催しました。



講演会では、同志社大学生命医工学部の田中和人教授より「FRPに関する最近の動向」と題してリサイクル炭素繊維や天然繊維の活用など最新の研究動向についてご紹介いただきました。懇親会では活発な交流が行われ、最後は恒例の「琵琶湖周航の歌」を全員で合唱し、盛会のうちに終了しました。

■2026年秋季行事

福山市での開催を予定しております。詳細が決まり次第、会員の皆様へご案内いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

中国四国支部活動の詳細情報は
ホームページよりご確認ください。



九州支部からのお知らせ

九州支部は、21年目の活動に取り組んでいます。

■冬の行事と支部総会（2025.11.13 参加者:11名）

「公害克服の街「北九州」を視てみよう！」とのスローガンで、克服経緯を勉強し、若戸渡船に乗船して、現代のきれいな海を実感しました。その後、小倉駅ビル内で、支部総会を行いました。※詳細は京機短信<No.412>をご覧ください。



■2026年春の行事（2026.05.23～24 参加者15名）

「失われた『豊(とよ)の国』を再発見!」

大分県宇佐神宮をメインに、神仏習合、和気清麻呂、福沢諭吉、双葉山、大戦の悲しい遺構、中津の鰯料理、オート三輪との出会い、青の洞門の禅海和尚、摩崖仏に「昭和の町」・・・と、神武以前～近代・現代へ続く日本の歴史に触れる、話題満載で超満腹の旅となりました！ ※詳細は京機短信<No.418>をご覧ください。

●新しい発見や気づきも多数あり、その上、皆様方の人生やお考えに触れることができ、熱い思いの2日間！



■2026年度「出前授業」報告

①「修猷館高校」2025.11.1 講師:中村久志氏(1981)
2018年より、毎年継続中です。

②「東筑高校」2025.12.15

講師:京大黒瀬良一教授(1993,東筑OB)・中村久志氏
京大研究生永田柁樹さん(東筑OB、リモート参加)

黒瀬先生と永田さんに、大学や生活の実際をお話いただき、中村さんが授業を実施。生徒さん達は現役大学院生の永田さんの飾らない話に引き込まれました。

③「北九州高専」2026.1.13 講師:千々木亨氏(1979)
「ペットボトル」の問題をフックに グローバル環境間についての講義を行いました。

④「久留米高専」2026.1.30

講師:村上弘記氏(関東支部長、1985)

ロボット工学の内容の他、自身の経験に基づく「他では聞けない話」についてもお話しくさしました。
※詳細は京機短信<No.412、No.413>をご覧ください。

●今後も、多くの方にご参加いただけるよう、魅力ある活動に、チャレンジしてまいります！

九州支部活動の詳細情報は
ホームページよりご確認ください。



